







岡本家の人々(右からかの子、一平、太郎)  
東京青山高樹町の家 昭和3年(1928)

特集◎母の日によせて

# 岡本かの子と太郎

岡本家の人々①



# 母の手紙

岡本太郎による書「母の手紙」

## 息子への手紙

芸術家・岡本太郎の母、かの子。太郎の母というより、かの子の息子が太郎と言った方がいいほどの存在感を放った女性です。かの子は、その純真さゆえにときに危うさをはらみながらも、家族の枠を超えて人間としてお互いを認め合いながら生きて岡本家の支柱でもありました。



読者投稿

かいて、送って、  
みんなでおしゃべり

# ひろば

テーマ

「花をかく 草をかく」

眺めたり、観察したり、育てたり。日々の暮らしを豊かにしてくれる花や草に感謝を込めて。

自由絵手紙／なんでも100字／活動報告

おかあさんにありがとう。

5月14日は  
母の日です



和田久子(75歳・愛知)  
畑仕事をいつもしていた亡き母です。



江崎まさ子(65歳・福岡)  
泣き虫だった私を励まし続けてくれる母さん、長生きしてね。



安部栄子(愛知)

新芽を摘んで  
母と作った  
草餅



大田瑠裕美子(岡山)

あなたが大好きな  
この花を見ると  
花冠に真っ赤な  
ドレス姿を  
想い出す  
キラキラ  
輝いていた  
娘へ  
母より  
十年  
昔



諸富美恵子(73歳・大分)



平田久子(東京)  
母没後47年、庭の水仙を継ぎ育て、  
毎年の楽しみです。





自分新

こいけ・くにお

1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「ヘタでいいヘタがいい」をモットーに絵手紙運動をつづける。日本絵手紙協会名誉会長。

誌上レッスン

初心から学ぶ『ヘタでいいヘタがいい』

# 絵手紙教室

月刊誌を使って好きな時に好きな場所で学んでいきましょう